

エコアクション 21

環境経営レポート

2023年度

対象期間
(2023年4月～2024年3月)



株式
会社 大雄

WWW.daiyu-kaitai.co.jp

発行日： 2024年6月1日
改訂日： 2025年4月18日

目 次

I. 組織の概要	・・・・・・・・・・	1
II. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日	・・・	5
①組織 ②活動 ③レポートの対象期間及び発行日		
III. 環境経営方針	・・・・・・・・・・	6
IV. 環境経営目標	・・・・・・・・・・	7
V. 環境経営計画	・・・・・・・・・・	8
VI-①環境経営計画に基づき実施した取組内容（取組事例）		9
②実施体制	・・・・・・・・・・	11
VII-①環境経営目標の実績	・・・	12
②環境経営計画の取組結果とその評価	・・・	13
③次年度の環境経営目標及び環境経営計画	・・・	19
VIII. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び、 評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無	・・・	20
IX. 代表者による全体評価と見直し・指示	・・・	21

I. 組織の概要

1. 事業者名

株式会社 大雄

2. 代表者名

代表取締役 村上 浩二

3. 所在地

本社 社 愛知県名古屋市南区東又兵ヱ町3丁目5番地の9
電話 TEL : 052-612-5751 FAX : 052-612-5761
機材センター 愛知県名古屋市南区西又兵ヱ町4丁目15番地
阿久比ゼロ・エミッションセンター
愛知県知多郡阿久比町大字植大字南谷4番8号

4. 環境管理の責任者氏名連絡先

環境管理の責任者	村上 浩二
本社 電話	052-612-5751
FAX	052-612-5761
E-mail	info@daiyu-kaitai.co.jp
ホームページ	http://www.daiyu-kaitai.co.jp

5. 事業の概要

- ・産業廃棄物収集運搬業
- ・産業廃棄物処分業（中間処分）
- ・総合解体業

6. 事業規模

法人設立年月日	: 平成 10年 5月 27日
資本金	: 1,000万円
売上高	: 854百万円
従業員	: 13人 (2023年 6月現在)
敷地面積	: 7,496.04m ² (床面積 154.63m ²)
	本社 : 133.22m ²
	機材センター : 991.72m ²
	阿久比ゼロ・エミッションセンター : 6371.1m ²

各種許認可の内容

産業廃棄物収集運搬業（積替え保管を除く中間処分と同じ7品目）

許可番号	許可年月日	有効年月日
愛知県 2300070157号	2020年6月16日	2025年6月15日
岐阜県 2100070157号	2020年6月1日	2025年5月31日
三重県 2400070157号	2020年6月20日	2025年6月19日

産業廃棄物処分業（中間処分）（選別）

産業廃棄物の種類

廃プラスチック類（自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。）、
紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、（自動車等破砕物を除く。）、
ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去
に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず（自動車等破砕及び
石綿含有産業廃棄物を除く。）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を除く。）
以上 7品目（水銀使用製品産業廃棄物を除く。）

処理能力 : 150.24m³/日 (18.78m³/時間)

	許可年月日	有効年月日
愛知県 02320070157号	2017年12月26日	2022年12月12日
	2022年12月3日	2027年12月2日

古物商

愛知県公安委員会 許可番号 第541222004300号

建設業許可（とび・土工・解体工事業）

愛知県知事（般-31）第100781号 2024年 8月31日

処理実績

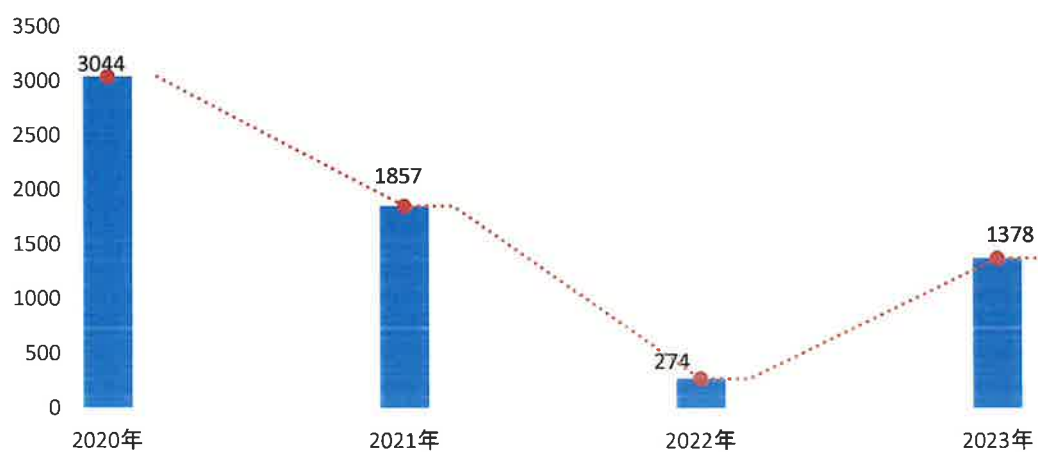
収集運搬量

収集運搬量



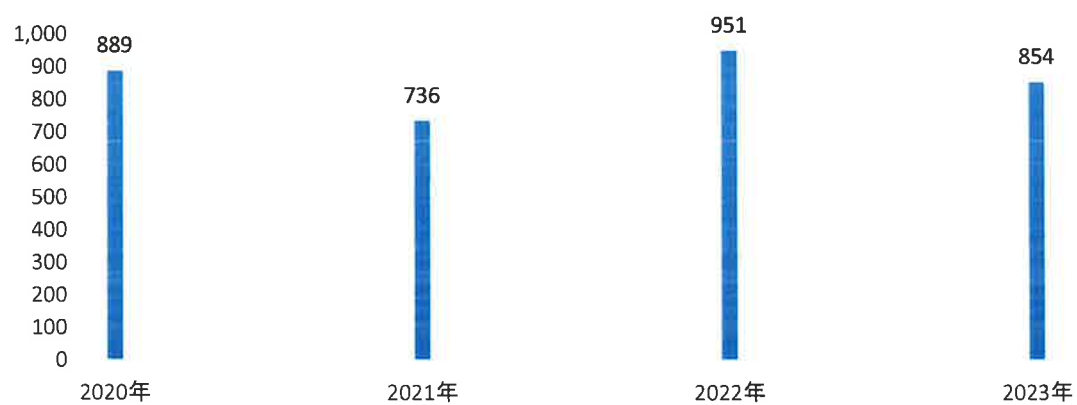
処分量

産業廃棄物中間処理量(t)



売上高

売上高



所有車両・設備

運搬車両の種類と台数（2023年 6月現在）

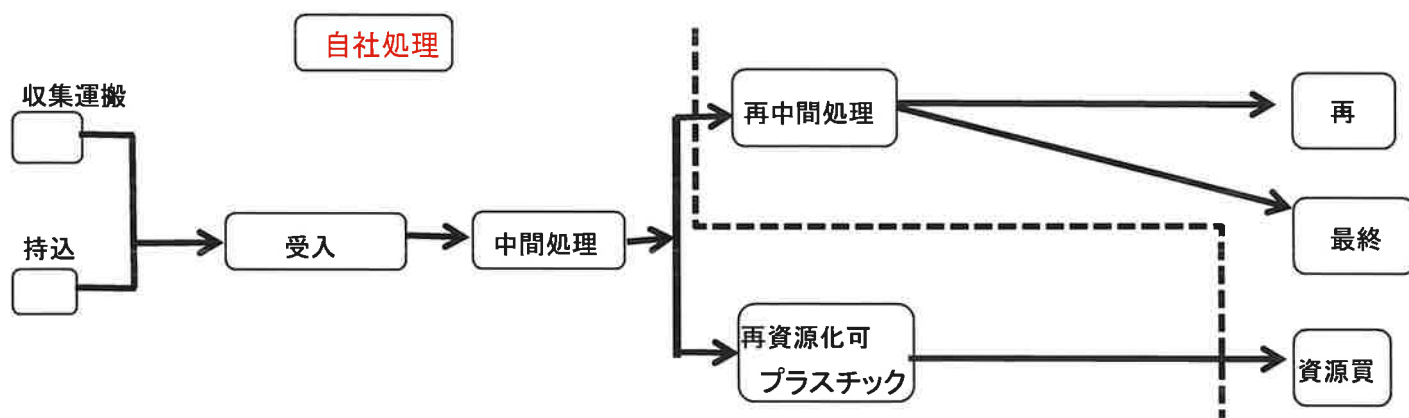
2 t ダンプ車	2台
4 t ダンプ車	2台
4 t アームロール車	2台
3 t ユニック車	1台
3tダンプ車	1台
10 t ダンプ車	1台
10 t アームロール車	1台
8 t アームロール車	1台

機械設備（2023年 6月現在）

選別ライン	1基
フォークリフト	3台
1.9m ³	1台
1.2m ³ ロングリフト	1台
1.2m ³ 2P ブーム	1台
1.2m ³	1台
0.7m ³ 2P ブーム	1台
0.7m ³	2台
0.65m ³ ～0.1m ³	5台

処理工程図

品目：廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類



中間処理方式

ホッパー受入⇒磁選機⇒ベルトコンベア（選別）

廃棄物等処理料金

主要事業である産業廃棄物処理料金は概ね10,000円/m³ですが、種類・量・輸送距離により異なりますので、詳しくは本社事務所（TEL 052-612-5751）までご相談下さい。

Ⅱ. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

①組織

本社
機材センター
阿久比ゼロ・エミッションセンター

②活動

- (1) 産業廃棄物収集運搬業
- (2) 産業廃棄物処分業（中間処分）
- (3) 総合解体工事業

③レポートの対象期間及び発行日

対象期間 2023年4月～2024年3月

レポート 発行日 2024年6月1日

Ⅲ. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

〈環境理念〉

株式会社大雄は携わるすべての人に安心して
選ばれ続ける企業を目指し、解体工事・産業廃棄物処理業者
として環境に配慮し循環型社会の実現に向けた活動を目指します。

〈基本方針〉

1. 環境関連法規及び当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
2. 省資源・省エネルギーに配慮して化石燃料・電気（二酸化炭素排出量の削減）水使用量削減に取り組みます。
3. 再利用・再資源化により産業廃棄物を削減及び
自社内再資源化100%（ゼロ・エミッション）を目指します。
4. 環境経営システムの継続的改善に取り組みます。
5. 当社はこの方針を全社員に周知すると共に社外の求めに応じて
開示します。

制定日	2013年	4月1日
改定日	2019年	4月1日
株式会社	大雄	

代表取締役 村上 浩二

IV. 環境経営目標

環境目標は、当社の環境負荷調査結果より、以下のような目標を設定しました。
 なお、2018年以前は2014年度を基準値として目標を設定していましたが、2019年度以降は、前年度を基準に目標設定するものと変更いたします。

2022年度を基準値設定とする。

取組み項目	基準値	単位	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素排出量の削減	743, 220	kg-CO ₂	735, 788 1%削減	728, 356 2%削減	720, 923 3%削減
電力使用量の削減	17, 968	kWh	17, 788	17, 609	17, 429
軽油使用量	272, 660	ℓ	269, 933	267, 207	264, 480
ガソリン使用量	13, 577	ℓ	13, 441	13, 305	13, 170
一般廃棄物排出量の削減	34	kg	34	33	33
水使用量の削減	131	m ³	130	128	127
産業廃棄物中間処理資源化率の向上(%)	92. 6	%	93	94	95

注) 電力使用量の二酸化炭素調整後排出係数は2022年度の中部電力ミライズ値0. 459kg-CO₂/kWhを使用

- 1) 二酸化炭素排出量は、電気使用量、軽油使用量、ガソリン使用量と都市ガス使用量の合計とし、年度比1%削減で2025年度には基準年度比3%削減を目標とします。
- 2) 都市ガスの使用量があるが、少量(基準年3m³)なので目標項目には取り上げませんが、削減活動は実施します。
- 3) 一般廃棄物排出量は、可燃ごみと不燃ごみの合計とし、年度比1%削減で2025年度に3%削減を目標とします。
- 4) 水使用量は、年度比1%削減で2025年度は基準年度比3%削減を目標とします。
- 5) 産業廃棄物の中間処理の資源化率
(廃プラスチック最終処分量を除いた量を対象にします)
- 6) 化学物質の使用はありません。

V. 環境経営計画（2023年4月～2024年3月）

1) 二酸化炭素排出量の削減

①電気使用量の削減

前年度を基準として、1%削減に努めます。

- ・節電呼びかけ、機械管理の充実（環境管理事務局）
- ・不要照明の徹底電源OFF（環境管理事務局）
- ・冬季暖房設定温度は20℃に、夏季冷房温度は28℃に設定（本社事務所）
- ・トロンメルの効率的運転（ゼロ・エミッションセンター）

②化石燃料使用量削減

前年度を基準として、1%削減に努めます。

- ・ガソリン・軽油使用量の把握（環境管理事務局）
- ・低速走行の励行、急発進の中止（エコドライブ）（全社）
- ・アイドリングストップの実施（全社）
- ・エアコンの適正設定温度（全社）
- ・車輛点検・整備の励行（環境管理事務局）
- ・重機の効率的運転（ゼロ・エミッションセンター、解体現場）

2) 一般廃棄物排出量の削減

前年度を基準として、1%削減に努めます。

- ・分別呼びかけ（環境管理事務局）
- ・廃棄物の分別の徹底（全社）
- ・廃棄ゴミから資源の徹底・分別（本社）
- ・分別ラベル貼り付け（本社）

3) 水使用量の削減

前年度を基準として、1%削減に努めます。

- ・節水呼びかけ（環境管理事務局）
- ・水道の蛇口を確実に閉める（全社）
- ・散水時節水の促進（解体現場）
- ・節水ステッカーの貼り付け（本社）

4) 中間処理資源化率の向上

前年度を基準として、資源化率1%増に努めます。

- ・廃棄物最終処分量削減（ゼロ・エミッションセンター）
- ・混合廃棄物の選別の細分化（ゼロ・エミッションセンター、解体現場）
- ・排出現場での1次選別の徹底（解体現場）
- ・廃プラのマテリアル化（ゼロ・エミッションセンター）

VI. -①環境経営計画に基づき実施した取組内容（取組事例）

なごやSDGsグリーンパートナーズ 認定エコ事業所

認定番号：00351 認定期間 令和3年11月25日

令和8年11月30日まで



【具体的な取組】

●環境

「エコアクション21」認証

- ・電気・ガス・ガソリン・軽油の使用量をデータ化して、削減実施
- ・低公害重機の使用
- ・不用品のリサイクル(古物商許可取得)

●人権

「健康宣言チャレンジ事業所」の認定取得

- ・資格取得支援制度
- ・ジェンダーや国籍など差別ない人材確保の運用
- ・65歳以上の高齢者の雇用

●安心・安全

- ・5S・KY活動を徹底し、仲間の安全、近隣への配慮を第一に考える
- ・安全会議の定例開催
- ・「建築物石綿含有建材調査者」取得

●社会貢献

- ・こども110番の家に登録
- ・地域行事への寄付
- ・児童養護施設へ寄付

事務所・機材センター

節電・節水ステッカー貼り付け



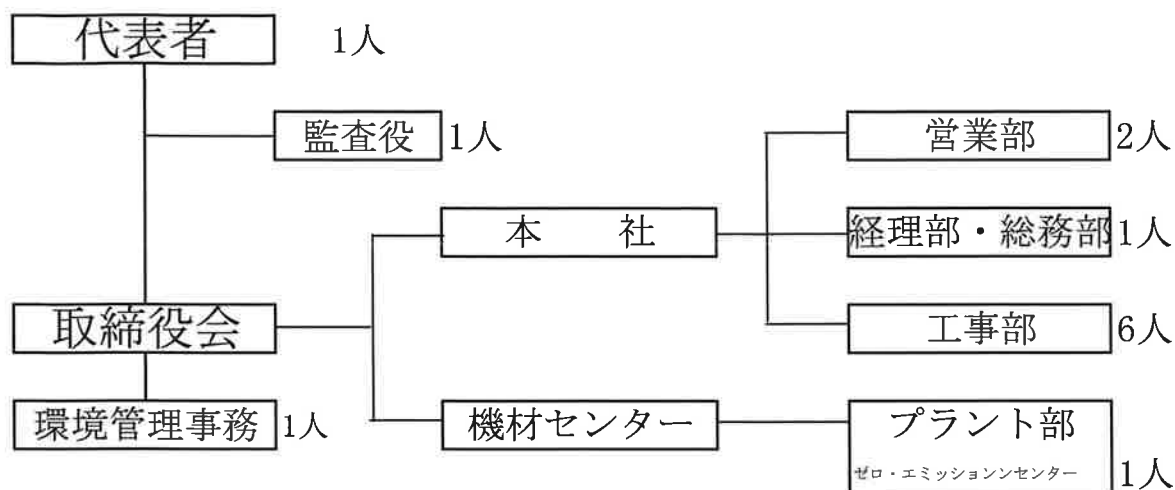
ペットボトルを凍らせ冷風を当て
室内の温度を下げる。

雑がみ、新聞紙
可燃ごみ・プラスチック
ペットボトル・キャップ
アルミ缶・スチール缶 仕分け



VI. -②実施体制

総人数 13人



役割	責任・権限
代表者（代表取締役）	・ 代表者による経営における課題とチャンスの明確化
	・ 環境経営システムの総責任者
	・ 環境経営方針の決定
	・ 環境管理の責任者
	・ 資源（人員・設備・費用）の準備
	・ 全体の取り組み状況の評価と見直し
	・ 環境経営目標及び環境経営システムの承認
	・ 環境経営方針の周知と教育の実施
	・ 環境経営の取り組み結果の確認
	・ 環境経営レポートの確認
	・ 代表者による全体の評価と見直し・指示
環境管理事務	・ 文書の作成管理
	・ システム運用上の事務管理
	・ 環境経営計画の作成と集計
	・ 環境経営レポートの作成
全従業員	・ 環境経営目標を達成するため積極的な参加

VII. -①環境経営目標の実績

運用期間は、2023年4月～2024年3月まで

取り組み項目	基準値 2022年度	単位	目標	目標値	実績 2023年度	増減率	評価
二酸化炭素排出量の削減	743, 220	kg-CO ₂	1%	735, 788	670, 208	-9. 8%	○
電力使用量の削減	17, 968	kWh	1%	17, 788	17, 742	-1. 3%	○
軽油使用量	272, 661	ℓ	1%	269, 933	247, 269	-9. 3%	○
ガソリン使用量	13, 578	ℓ	1%	13, 441	10, 390	-23. 5%	○
一般廃棄物排出量の削減	34	kg	1%	34	29	-14. 7%	○
水使用量の削減	131	m ³	1%	130	120	-8. 4%	○
産業廃棄物中間処理資源化率の向上 (%)	92. 6	%	1%	93	96. 7	4. 4%	○

評価は削減目標値を達成した場合は○未達成の場合は×と表示しています。

注) 電力使用量の二酸化炭素調整後排出係数は2022年度の中部電力ミライズ値0. 459kg-CO₂/kWhを使用
達成状況

- 1) すべて目標達成となった。この結果は2022年と2023年の売上高の差が1億円減になった事が要因と考える。工事物件数は2023年の方が多いが現場の場所や大型物件、小型物件などで左右されるため工事物件数と売上高は比例しない。
- 2) 都市ガスの使用量はあるが、少量なので目標項目には取り上げませんが、削減活動は実施します。
- 3) 一般廃棄物排出量（可燃ごみ、不燃ごみ）は14. 7%減で目標を達成する事ができた。引き続き必ず分別できるものはして、一般廃棄物削減に努める。
- 4) 水使用量は8. 4%減で目標を達成することができた。
2022年は締め忘れ等が多く水道使用量が増加したが締め忘れのないよう就業後の確認の徹底し、引き続き周知、確認するよう努める。
- 5) 産業廃棄物の中間処理の資源化率は廃プラスチック最終処分量を除いた量を対象にした。

VII. -②環境経営計画の取組結果とその評価

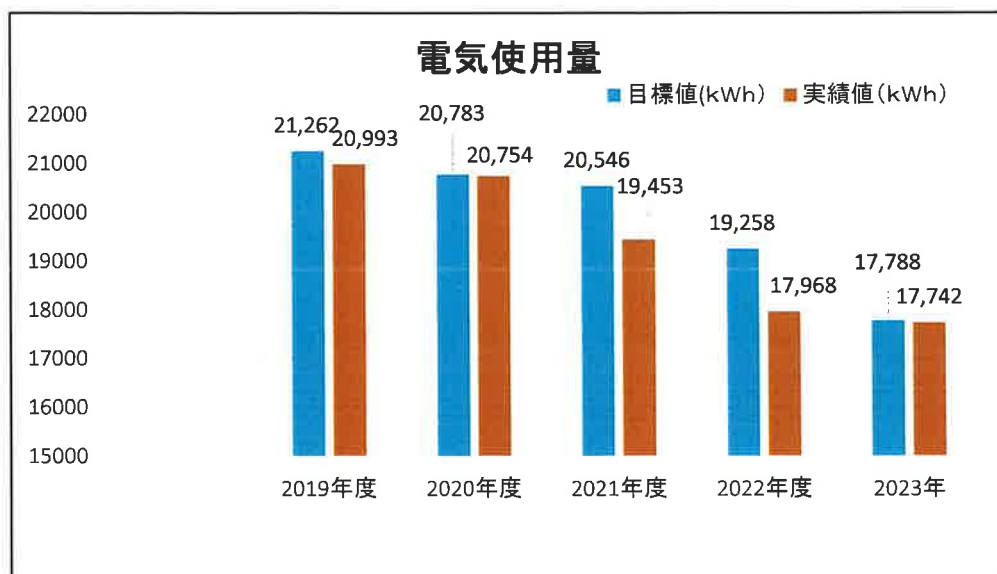
数値目標：○達成 ×未達成

●2019年度までは二酸化炭素の排出係数0.452kg-CO₂を使用
2023年度から0.433kg-CO₂を使用しています。

電気による二酸化炭素削減

【主な取組】	実施状況	次年度の取組み内容
節電呼びかけ、機械管理の充実	○	継続
不要照明の徹底	○	継続
空調の設定温度の管理	○	継続
パソコン等IT機器の使用管理	○	継続
トロンメルの効率的運転	△	意識の向上

【取組実績】



	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年	増減率	評価
目標値(kWh)	21,262	20,783	20,546	19,258	17,788	-1.3%	○
実績値(kWh)	20,993	20,754	19,453	17,968	17,742		

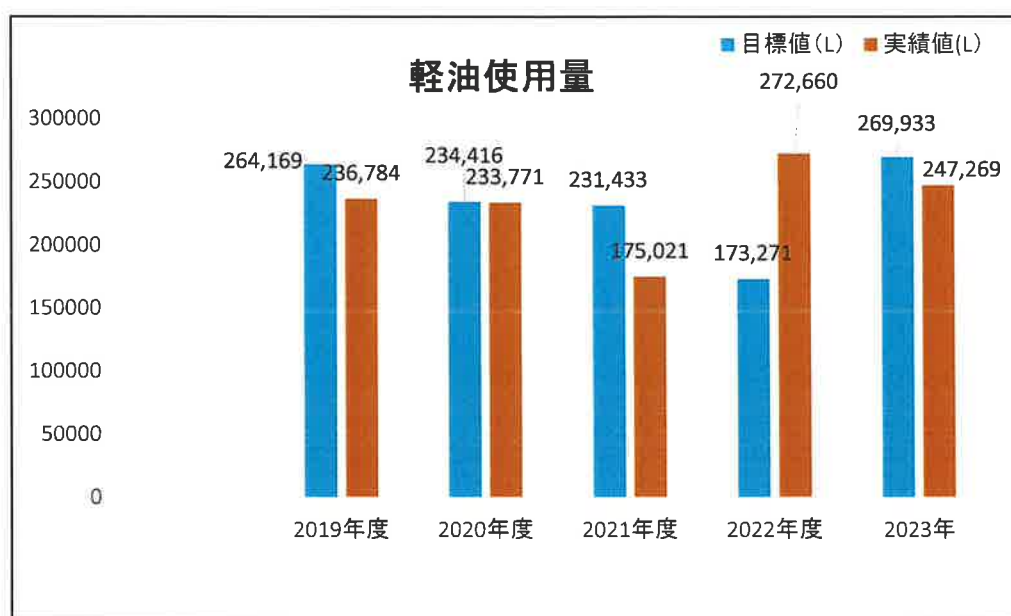
【評価】

前年度に比べて電力使用量 (kWh) 1.3%の削減に成功した。
事務所での空調利用の徹底、照明の適切点灯・消灯に心がけた結果
目標に達成することができた。

自動車・重機燃料による二酸化炭素削減

【主な取組】	実施状況	次年度取組内容
・ガソリン・軽油使用量削減	△	更なる意識の向上
・低速走行の励行、急発進の中止	○	全車、通信型ドライブレコーダー設置 を目標を追加
・アイドリングストップの実施	○	更なる意識の向上
・エアコンの適正設定温度	△	継続
・車両点検・整備の励行	○	継続
・重機の効率的運転	○	継続

【取組実績】



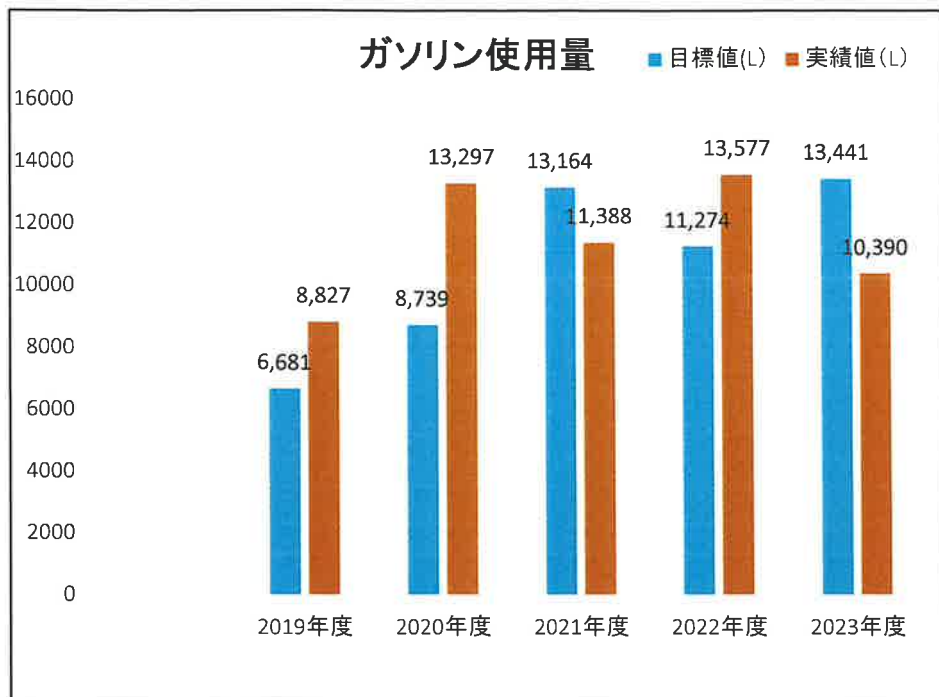
※2016年度から2018年度はCO₂の係数2.62kgCO₂/Lを使用し、2019年度以降は2.58kgCO₂/Lを使用。

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年	増減率	評価
目標値(L)	264,169	234,416	231,433	173,271	269,933	-9.3%	○
実績値(L)	236,784	233,771	175,021	272,660	247,269		

【評価】

基準年度に比べて軽油使用量(L) 9.3%減少し目標達成することができた。
軽油使用量は収集運搬車両とゼロ・エミッションセンターでの中間処理設備及び解体現場での重機の使用量の合計ですが、解体現場の件数や工期の長い現場が遠方だった為軽油使用量が増加した。

【取組実績】



	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	増減率	評価
目標値(L)	6,681	8,739	13,164	11,274	13,441	-23.5%	○
実績値(L)	8,827	13,297	11,388	13,577	10,390		

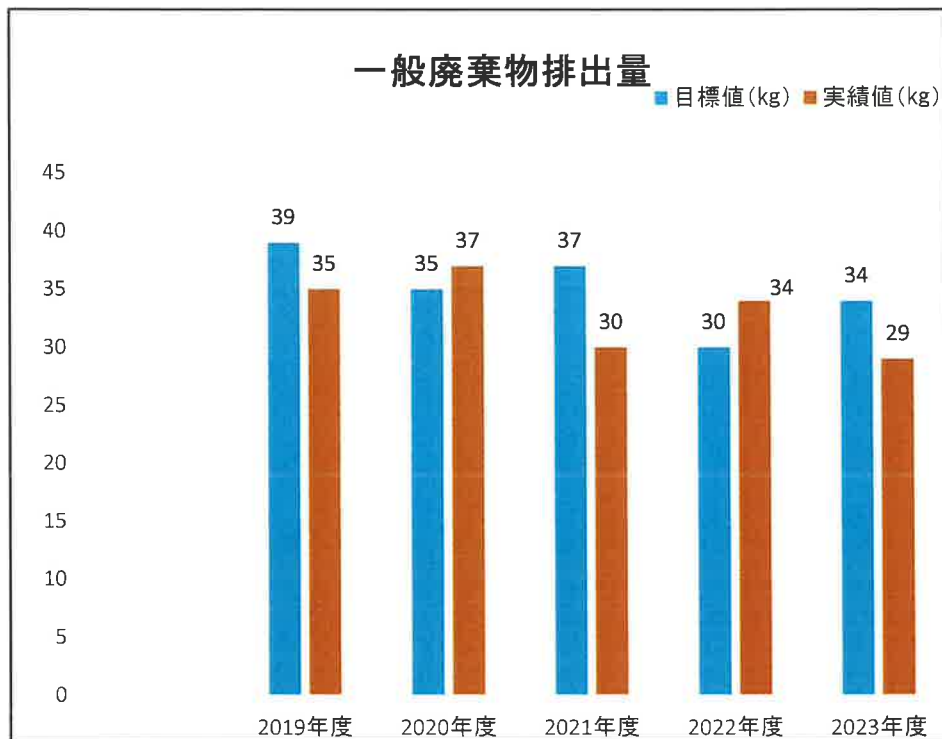
【評価】

基準年度に比べてガソリン使用量（L）23.5%減少し目標を達成する事ができた。乗り合わせで行くなどして、使用量、使用台数を減らし、エコ運転に心がけながら来年度以降も削減を目指す。

廃棄物排出量の削減

【主な取組】	実施状況	次年度の取組み内容
・ルール確認、分別呼びかけ	○	継続
・廃棄物の分別の徹底	○	継続
・廃棄物ゴミから資源の徹底、分別	○	継続
・分別ラベル貼り付け	○	継続

【取組実績】



	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	増減率	評価
目標値(kg)	39	35	37	30	34	-14.7%	○
実績値(kg)	35	37	30	34	29		

【評価】

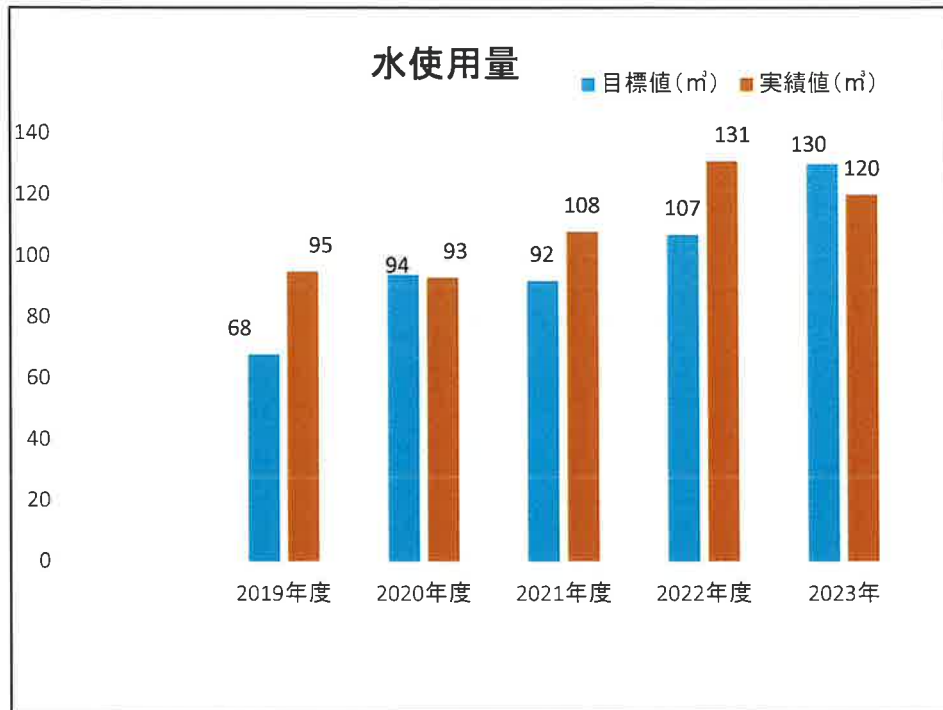
基準年度に比べて一般廃棄物の排出量 (kg/年) 14.7%減で目標を達成することができた。

引き続き社員、協力会社への周知で、分別を心掛け削減を目指す。

水使用量の削減

【主な取組】	実施状況	次年度の取組み内容
節水呼びかけ	○	継続
水道の蛇口を確実に閉める	○	継続
散水時節水の促進	○	継続
節水ステッカーの貼り付け	○	継続

【取組実績】



	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年	増減率	評価
目標値(m³)	68	94	92	107	130	-8.4%	○
実績値(m³)	95	93	108	131	120		

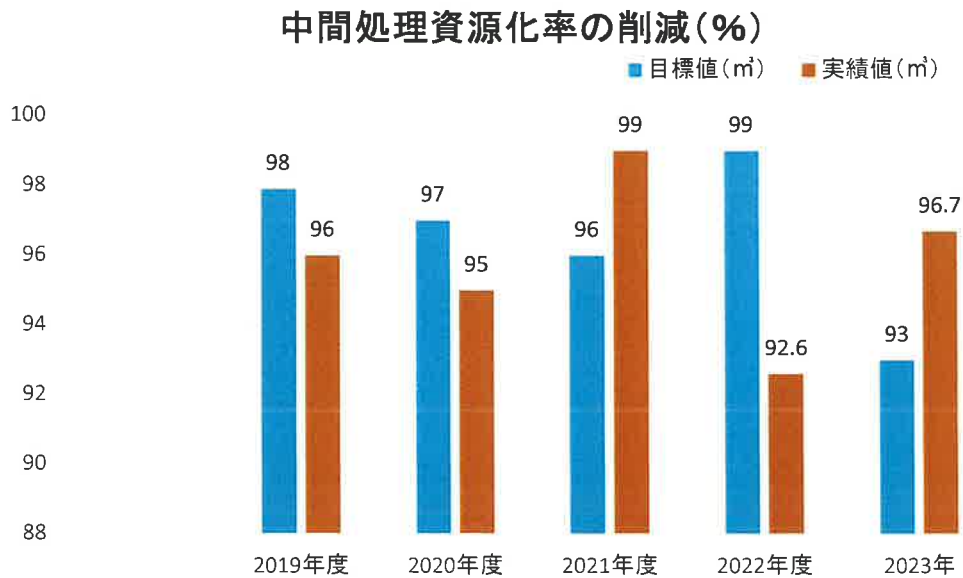
【評価】

基準年度に比べて水道量 (m³/年) が8.4%減少し、目標を達成することができた。
引き続き締め忘れがないよう従業員に周知、確認をし、削減を目指す。

産業廃棄物中間処理資源化率の削減

【主な取組】	実施状況	次年度の取組内容
・ルール確認	○	継続
・産業最終処分量削減	○	意識の向上
・混合廃棄物の選別の細分化	○	継続
・排出現場での1次選別の徹底	○	継続
・廃プラのマテリアル化	○	意識の向上

【取組実績】



	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年	増減率	評価
目標値(m³)	98	97	96	99	93	4.4%	○
実績値(m³)	96	95	99	92.6	96.7		

【評価】

廃プラスチックと混合廃棄物の資源化率が上がった為目標を達成することができた。引き続き細かな分別を心掛け資源化率を上げていく。

※鉄スクラップ

2022年 3690.59 t

2023年 2967.28 t

有価物とし売却
各現場での排出量

鉄として再利用できる鉄スクラップは廃材売上として計上。
大型物件や件数次第で量は異なってくる。

VII. -③次年度の環境経営目標及び環境経営計画

(1) 次年度の環境経営目標

※基準値は2023年度の実績値とします。

取組み項目	基準値	単位	2024年度	2025年度	2026年度
二酸化炭素排出量の削減	668,949	kg-CO ₂	662,260 1%削減	655,570 2%削減	648,881 3%削減
電力使用量の削減	17,742	kWh	17,565	17,387	17,210
軽油使用量	247,270	ℓ	244,797	242,325	239,852
ガソリン使用量	10,390	ℓ	10,286	10,182	10,078
一般廃棄物排出量の削減	29	kg	29	28	28
水使用量の削減	120	m ³	119	118	116
産業廃棄物中間処理資源化率の向上(%)	96.7	%	97	98	99

注) 電力使用量の二酸化炭素調整後係数は2023年度の中部電力ミライズ値0.388kg-CO₂/kWhを使用

(2) 次年度の環境経営計画

環境経営計画は従来計画を継続します。

VIII. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び、 評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

法令見直し日 2024年3月30日

遵守評価日 2024年3月30日

環境関連法規	要求事項遵守	遵守評価
産業廃棄物の適正な処理の促進に関する条例	廃棄物の適正分別と保管場所の確保	○
	産業廃棄物の適正処理 (収集運搬、処理業者への委託)	○
	一般廃棄物の適正な排出	○
	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付と 期間内処理の確認（保管 5年・1年に 1回許可証の確認・実績報告毎年6月）	○
	産業廃棄物管理票交付状況等報告書の提出	○
消防法	消火器の設置・警報機の点検実施	○
フロンガス排出抑制法	業務用エアコン点検（3ヶ月に1回）	○
騒音規制法	特定施設届出 特定建設作業にともなう実施の届出	○
振動規制法	特定施設届出 特定建設作業にともなう実施の届出	○
建設リサイクル法	特定建設資材について、その分別解体等及び再資源化等を促進する 登録制度を実施し再生資源の十分な利用及び廃棄物の減量等を図る	○
高圧ガス保安法	届出	○
再資源有効利用促進法	指定副産物と排出量 指定建築資材と排出量	○
市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例	アイドリングストップ (運転する者・事業の用に供する者の責務、駐車場の設置等の義務)	○

環境関連法規への違反はありませんでした。

環境に関する苦情、訴訟等ありませんでした。

なお、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありません。

IX. 代表者による全体の評価と見直し・指示

2024年6月1日

① 見直し 関連情報	項 目		確認	(必要に応じて評価・コメント記載)
	1	エコアクション21文書	☒	文書類として作成しました
	2	環境経営目標及び環境目標達成状況	☒	継続して取り組みます
	3	環境経営計画及び取り組み実施状況	☒	継続して取り組みます
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒	確認しました
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☒	特にありませんでした
	6	問題点の是正・予防設置の実施状況	☒	特にありませんでした
	7	その他	☒	特にありませんでした

② 代表者による 全体評価・ 見直し指示	レポート結果の報告を受け、すべて目標達成することができた。			
	引き続き二酸化炭素排出量、化石燃料使用量、一般廃棄物排出量、水使用量の削減 中間処理資源化率の向上を目指す。			
	従業員、協力会社に周知、理解を得て目標を達成する。			
見直し項目		変更の必要性		「有」の場合の指示事項等
1	環境経営方針	有 ☐ 無 ☒		
2	環境経営目標	有 ☐ 無 ☒		2023年を基準とした環境目標とする
3	環境経営計画	有 ☐ 無 ☒		
4	実施体制	有 ☐ 無 ☒		
5	その他（外部への対応）	有 ☐ 無 ☒		